

中外製薬株式会社

会社紹介、研究職紹介

2023年12月15日

会社概要

がん・バイオに強みを持つ、研究開発型製薬企業

医療用医薬品メーカーとして日本トップクラス

- 売り上げ収益1兆1,680億円 営業利益4,517億円 従業員数7,771名
(2022年度決算Coreベース)
- 国内がん領域で売り上げシェア 第1位* (2022年度決算ベース)
- 国内抗体医薬品市場で売上シェア第1位* (2022年度決算ベース)



ユニークなビジネスモデル

- 戦略パートナーであるロシュ社が株式58.89%を保有
- 独立した上場企業として自主的経営を実行



独自のサイエンス・創薬技術力

- 国産初の抗体医薬品を創製。抗体・中分子等で世界先端の技術力

*出典：IQVIA医薬品市場統計2022年暦日（1月-12月）をもとに作成 無断転載禁止 市場の定義は中外製薬による

成長戦略の概要

『R&Dアウトプット 倍増』・『自社グローバル品 毎年上市』

世界最高水準の創薬実現

- ▶ 独自の創薬アイデアを具現化する既存技術基盤の拡張と新規技術基盤の構築
- ▶ R&Dアウトプット倍増により毎年自社グローバル品上市
- ▶ デジタル活用およびグローバル先進プレイヤーとの連携強化によるイノベーション機会の加速

先進的事業モデルの構築

- ▶ デジタルを核としたモデル再構築による患者価値・製品価値の飛躍的向上
- ▶ バリューチェーン全体にわたる生産性の飛躍的向上
- ▶ 医薬品の価値最大化と収益の柱を目指したインサイトビジネスの事業化

Key Drivers ▶ DX ▶ RED SHIFT ▶ Open Innovation

* RED : Research（研究）とEarly Development（早期開発）の総称

中外製薬の研究職

探索研究

非臨床研究

臨床試験

承認審査

市販後

創薬研究機能（横浜）

バイオロジ × 技術
↓
創薬イノベーション

研究本部・
トランスレーショナルリサーチ本部
Flow of Research and Development

プロダクトリサーチ （横浜） 製品の価値最大化

育薬研究
Product Research

製薬研究機能（浮間）

創薬イノベーションを製品化し、
患者さんに価値を届ける

製薬技術本部
Pharmaceutical Technology
Division

また、新卒採用では
・開発職
・MR職
の募集も行っております。

臨床薬理機能（日本橋・横浜）

ヒトにおける有効性や安全性の予測・相互作用の予測，解析

研究本部・
トランスレーショナルリサーチ本部
Flow of Research and Development

創薬研究機能の役割

革新的 医薬品の創製

- ✓ アイディア着想・検証
- ✓ リード同定・最適化
- ✓ 解析・評価

“モノづくり”

臨床開発品

創薬技術開発

- ✓ ターゲット探索技術
- ✓ モダリティ技術
- ✓ 解析・評価技術
- ✓ ヒト予測技術



世界の患者さん
医療・社会への貢献

創薬のはじまりから、医薬品の核となる“物質”の創製・決定までが主要な役割

❖ 臨床開発品決定後は、主要有効物質を変えることはない（その後は処方・製剤化の研究）

世界の医療を変える“モノづくり”を一緒にしていく仲間を求めている

研究機能の紹介～着想から臨床まで～

薬効・薬理研究

疾患バイオロジーを理解深耕することで、革新的な創薬アイデアを創出する。
薬効薬理評価を通じて、創薬テーマを推進する。

新規物質創生（バイオ）

抗体を代表する自社バイオ技術を駆使し、創薬プロジェクトを創出・推進する。
次世代バイオ医薬品を産み出すための、独自技術開発を行う。

新規物質創生（ケミカル）

Chemistryを駆使し、創薬プロジェクトを創出・推進する。
分子系に適した分析技術を開発する。
工業化製法確立のための初期検討を行う。

タンパク質科学

医薬品候補分子が結合する標的タンパク質について、意図した状態で精製する技術、立体構造解析等を駆使し、優れた機能を発揮する医薬品分子を創り上げる。

薬物動態研究

非臨床における薬物動態の多面的評価を通じて、化合物の価値最大化や開発候補化合物の選択を行う。

安全性研究

化合物の安全性を実験データにより探索・検証し、開発を推進する。

創薬基盤技術開発

中外創薬を支える技術の開発研究を行う。
例) スクリーニング、発生工学、病理解析、オミックス、データサイエンス

分析科学研究

多種多様な医薬品候補分子に対して、先端分析技術を活用し、複雑な分子の機能と作用機序を科学的に解明、革新的な創薬を実現させる。

創薬研究の強み・特徴

- ・ 常にイノベーションを追求することにより中外独自の創薬技術を連続的に作り出し、それら技術を画期的な医薬品の創製に着実に繋げています
- ・ そして、それを達成する「組織風土」があります
 - ✓ 画期的な薬剤となるものであれば**時間をかけてでも成し遂げる**
 - ✓ **高い専門性**を持った集団が建設的な議論を交わし、**妥協することなく質の高い医薬品にこだわり**研究を進めている
 - ✓ **年齢に関係なく**、新たな提案とその**挑戦**を奨励する

こうした研究活動から生み出した医薬品によって世界の患者さんのお役に立てることとは何事にも代え難い達成感を得ることができます。

研究機能の紹介

薬の可能性を現実にする

製薬研究



製薬研究部門が担う研究業務

原薬プロセス開発

バイオプロセス研究

ケミカルプロセス研究

経口剤／注射剤 製剤設計

製剤設計

品質設計

分析・物性研究

申請・審査対応

CMC薬事（技術薬事）

品質保証

品質保証

中外製薬の
製薬研究
で働く魅力



● 私たちにしかできないモノづくり

バイオと低中分子の両方に強みを持っており、様々なサイエンスとテクノロジーを駆使し、患者さんの手に届くカタチにまでつくりあげることができる

● 世界レベルのトップイノベーター

グループ企業のロシュやジェネンテック、その他世界中のパートナーと日常的に連携し、グローバルトップレベルの新たな技術開発に挑戦できる

● 世界中の患者さんに新薬を届ける

自分たちの研究成果が目に見える製品となって世界中の患者さんに届けられる達成感を味わえる